# 2025 年度　技術委員会報告書

| | |
|---|---|
| 開催内容 | 2025 年度　第 6 回技術委員会 |
| 日　　時 | 2026 年 2 月 16 日（月）16:00～17：30 |
| 場　　所 | 神情協事務局会議室＆Web　（下記（R）はリモート参加） |
| 出 席 者 | 委員会メンバー：前山、山口、河原（R）、川村、栗山、大橋、石川、木村（R）、秦、友利（勇）、友利（重）（R）、樋川、飯村、岡本、時庭<br>オブザーバー　：久能<br>神情協事務局　：甲田　　（敬称略、順不同）文責：甲田 |

1）アプリケーションコンテスト 2025 について

1/22 最終選考発表会を開催した。4 チーム出場、最優秀賞は

㈱NTT データ IM ジェイエスピ―の「すいそう日記」

2）先端技術研究会 2025 について

【今年度のテーマ】（人数）　26 社　77 名

① 比べて楽しむ『Unity + ARライブラリ』の研究（20）　デジタルコム㈱

② ドローン利活用の応用講習（ドローン減災士）　（20）　ドローン・アイティー㈱

③ 組込みIoT開発(Non OSプログラミング体験)　(5)　㈱ゼロワン

④ 量子コンピューティング研究会　(8)　㈱クラフトワーク

⑤ 技術啓蒙や利活用に関するディスカッション　(8)　ノックスデータ㈱

⑥ AIツール研究会　(16)　㈱エーアイネット・テクノロジ

来年度の幹事テーマ等については来年頃から調整をすすめる。なお、メンバー企業・会員企業で幹事引き受け検討されている方は申し出ていただくよう委員長から依頼があった。

3）2026 年度の事業計画について

新体制についての説明と来年度事業計画について報告した。（4 月に岡本氏副委員長に就任）

① 委員会4/21（火）、6/2（火）、8/4（火）、9/11（金　宿泊）、12/2（水）、2/15（月）

② CTF　6/16（火）第1回（エルテックス運営）

10/13（火）第2回（アルファウェ―ブ運営）

③ 技術関連施設見学会（旧工場見学会）　秋ごろを予定

④ アイデアソン・ハッカソンイベント　2027/1/21（木）頃を想定

⑤ 先端技術研究会　4/21（火）幹事説明会・6/2（火）（参加者向け説明会・

7月下旬まで募集　　9月～翌2月まで研究会開催（8テーマくらいを想定）

4）先端技術研究会 2026 幹事会社の募集について

2025 年度担当幹事の皆様に 2026 年度も継続しての運営をお願いして、確実ではないが継続を検討いただいている。

5）新規技術に関するアイデアソン・ハッカソン開催について

本件新規事業となるため、メンバーの紹介で、こうしたイベントの運営に詳しい方をお招きしてのプレ的な開催を検討していく。

6）2026 年度技術委員会施設見学会について

秋ごろの開催のため、今後検討をすすめる。

7）CTF 競技会　第 1 回目　6/16（火）について

3 月理事会に周知資料として提出、4 月からチーム参加を募集する。今回は㈱エルテックス社が運営予定。

8）9/11（金）宿泊研修について

宿泊先は確保したが、委員会の開催時間やその他の研修時間等、諸々の設定が不明のため、石和温泉周辺の環境を精査し、4 月の委員会で詳細なスケジュールを決定することとした。

9）40 周年記念特別委員会からの報告

友利委員、佐藤委員（本日欠席）が特別委員会にご参加いただいている。現在模擬店等の準備の調整などが行われている、今後春にかけて、各社に参加者把握のための調査依頼・各委員会に、当日の運営スタッフの選定等の依頼がある。委員会内で事前に当日スタッフ等調整を諮る方向となる。

10）かながわビジネスオーディション 2026 開催報告

山口委員長から報告があり、かながわビジネスオーディション 2026 では、神情協賞はして verbal and dialogue 株式会社の「AI 工事写真アプリで工事写真帳は「撮るだけで」」に授与した。今後 2026 年度のビジネスフォーラムのどこかの回で技術委員会の予算で招待し、企業経営委員会と調整の上、本発表を企画する。

11）メンバー企業からのご案内

ジスクソフト株式会社から「脆弱性検証としてのペネトレーションサービス」の案内があった。システム等の脆弱性の検証はお手軽な「スキャン」でも可能であるが、一律的なスキャンだと、本来脅威とされないものも多数研修されて、そのスキャン結果が結局脆弱性対策の資料として、検証しづらいものとなる場合がある。人間がホワイトハッカーとして、実際のシステムに侵入を試みる「ペネトレーションテスト」もあるが、検証のために技術者数日間拘束することとなり、費用面では導入をしづらい。この度ジスクソフトでは AI を併用した「ペネトレーションサービス」を確立し、その AI の調査結果をもとに人間の技術者による検証も行い依頼会社のセキュリティ強化に関する有効な対策案を提示するというサービスとなる。

本件技術委員会内でご説明をいただき、今後技術委員会メンバー内ならびに神情協ビジネスコミュニケーションメーリングリストでも展開する方向。

12）事務局報告

2025 年度の今後の事業ならびに 2026 年度の他委員会の事業を説明した。

以　上